ユードムチャレンジカップ 茨城県大会 2025

全国選抜

小学生プログラミング大会

Finalステージ あす開催！ 2025年12月20日(土) 場所 水戸市民会館ユードムホール 13：00～ お気軽にお越しください♪

県内小学生のプログラミング作品を競う「ユードムチャレンジカップ全国選抜小学生プログラミング大会茨城県大会」の最終審査となる作品発表会が 20 日、水戸市泉町の水戸市民会館ユードムホールで開かれます。

会場には、応募総数 137 作品の中から 1 次審査で選出された特別賞・優秀賞や受賞作品が勢ぞろい。特別賞作品は、制作した児童がそれぞれプレゼンテーションを行い、来年 3 月に東京都内で開催される全国大会の出場作品 1 点を選びます。優秀賞作品はユードムホールのホワイエでパネル展示を実施します。

大会を前に、本紙面で特別賞と優秀賞作品の計 20 点とアイデア賞、みんなのみらい賞、審査員特別賞を紹介します。

特別賞

いびき計測器 ～より良い眠りをあなたに…～

AmaDako (Ako×Mao×AkaDako)

作品紹介 お父さんが寝ている時に、無呼吸になっていることがあり、心配だったので、いびき計測器を作りました。AkaDako の音量センサーと頷きセンサーで計測し、結果をリアルタイムで記録・グラフ化します。無呼吸になったら、音で知らせてくれます。

つくば市立手代木南小学校 6年 野口 愛央／弓野 あこ

プログラミングで、いびきを測れる！音で助けられる！ということを、楽しく、わかりやすく発表します！皆に、より良い眠りを！

地球に優しいお片付けシミュレーション

スペースドッグ愛好団体

作品紹介 SDGs 学習で環境を大切にしたいと思い、ごみの分別を学べるゲームを作りました。最初に大がアニメーションで操作説明をし、次に犬を動かしてごみを分別しながらゴールを目指します。ごみの分別について楽しく理解することができます。

土浦市立右初小学校 6年 堀内 琴々音／田口 英依

初めて選ばれて光栄です。作品の魅力が伝わるよう頑張り、大好きなプログラミングで全国大会優勝します。

未来のスーパーマーケット

Akey Studio Kids

作品紹介 人口減少した未来のスーパーを舞台に、ロボットがお客さんをどのように手伝い、おもてなしするかを想像して作りました。ロボットがお客さんのやり取りを考え、Dash ロボットをプログラミングで動かして物語を表現しています。

茨城大学教育学部附属小学校 2年 穴山 桜子
水戸市立 6年 山田 愛鮮／水戸市立吉田小学校 4年 山田 翼輝

みんなでカを合わせて、未来のスーパーを楽しく作りました！ストーリーの表現やプログラミングの工夫を見てほしいです！

スーパーおじいちゃんハウス

作品紹介 熱中症でとくなるお年寄りを減らし、安全や健康を守るロボットです。「電気使用量モニター」で、エアコン・炊飯器などの電気の消費量を計測し、お年寄りが普段通りに暮らしているかを見守ります。「元気かな ボタン」で、非常事態には救助隊が組まれます。

つくばみらい市立豊士見ヶ丘小学校 4年 須藤 海舟

この作品で、おじいちゃんおばあちゃんの熱中症の死亡率を少しでも下げられたらいいなという気持ちで挑戦します。

かつおのＡＩレストラン経営物語

作品紹介 政治や社会に関心を持つＡＩかつおが、発明した「二酸化炭素循環器」でエネルギーを作り、菜園で自材を育てて収穫します。海辺のレストランを経営し、実況を交えて楽しめる未来の経営シミュレーションゲームです。自分の声や楽しい工夫をたくさん入れました。

日立市立池崎子小学校 6年 益子 勢

この作品は AI と経営という二つの興味から生まれました。AI を活用してより良い未来を作るという想いを込めた作品です。その想いがしっかり伝わるようにを込めて発表します。

熊と亀と人間の問題

いきもののレンジャーズ

作品紹介 熊や亀など、人間と野生生物が抱える問題を「いきものの目線」で描いた作品です。AI ドローンが熊との距離を保ちながら見守り、海ではごみを自動で回収する様子を表現しました。いきものの命を守る技術の大切さと、未来へ向けて考えるべきことを未まとめました。

日立市立 取川小学校 6年 高田 蓋也／日立市立 金沢小学校 6年 市川 心月

いきものが住きていくためには、人のカも大切だということを、このプレゼンでしっかり伝えたいと思います。この作品で、今起きている問題について考えてもらえたらうれしいです。

エコバランサー ～未来の地球を守れ～

T&Y

作品紹介 複雑に影響し合う社会問題を楽しく学べるゲームを作りました。社会の相互関係をカードの連鎖効果で表現しています。また、ゲーム内通貨で新しいカードを手に入れたりもできます。ゲームに熱中しながら社会問題を理解できる点がこの作品の魅力であり、新しさです。

行方市立玉造小学校 6年 井川 裕麻／岡田 拓登

社会問題に興味をもち楽しみながら学べるように工夫しました。作品の良さが伝わるようにプレゼンを頑張りたいです。

パイロットシミュレーター

作品紹介 プログラミング教室で先生からマイクロビットの使い方を教えてもらったときに、飛行機の操縦するプログラムを作ったら面白そうだと思い、便乗自所に乗る機会があり、解決があったので作りました。飛行機に搭載されている水平器を付けてみたり、飛行機の無線も自分で調いたので見てほしいです。

大子町立依上小学校 4年 菊池 陽

離陸するときのアニメーションを特に工夫したので、プレゼンで伝わるように頑張りたいです。

優秀賞

リサイクルをしてしげんを守ろう

常陸大古市立大宮小学校 4年 小林 幹時

僕は小学校の帰宅で、リサイクルをせずに捨てなどを捨てしまうと、素材が少なくなり値段が高くなることを学びました。皆にリサイクルをしてもらうために、アニメやクイズで楽しく遊べる学べるようにしました。この作品を見て皆さんも節などをリサイクルしましょう。

a Hard game about toilets

つくば市立学園の森義務教育学校 6年 松本 渉

このゲームは、SDGs 6番の「安全な水とトイレを世界中に」の達成に、どのくらいの人や時間が必要かを試すゲームです。このゲームを作ったのは、世界には清潔なトイレが行き届いておらず、あと 7 億人必要と知ったからです。目指せ！清潔トイレマスター！

「SDGs」って何だろう？

土浦市立右初小学校 6年 神野 愛巴

SDGs について楽しく学べるよう、クイズにしてみました。SDGs をテーマにした理由は近年、地球温暖化が進み環境が悪化してきているからです。今回の機会を通じて只山の人に楽しく SDGs について知ってもらい、みんなが温たしやすい未来にしていきたいなという思いを込めて作り出した。

茨城県観光名所ツアー

常陸太田市立太田小学校 5年 生天目 巽

この作品は、茨城県をテーマにしたゲームです。さまざまな地域の観光名所に行くことができ、きれいな写真と説明が流れます。茨城県にはたくさんの行って欲しい場所があるので、みんなに遊びに来てほしいと思い作りました。

熱中症と転倒予防システム

常陸太田市立機初小学校 5年 鈴木 貴大

今年の夏は特に暑くて熱中症にかかる人が多かったので、個仕事をしている祖父母が熱中症にならないようにしたいと思い、micro:bit で熱中症予防と転倒対策のシステムを作りました。これを使って安全に将仕事ができるよう頑なるいなと思っています。

ムキムキセット

水戸市立梅が丘小学校 4年 佐々木 望

この作品は、おじいさんおばあさんがもっと健康で元気で長生きできたらいいなという思いをコンセプトに作成しました。動かて、腕筋、スクワットの三種類を選ぶことができ、画像認識を使って回数を数えながら器具上に乗る「参加おばさん」と一緒に毎日楽しく運動できたら嬉しいです。

きれいな街

日立市立水木小学校 4年 西野宮 沙織

海のごみをへらしたいという思いから、この作品を作りました。海にはごみがたくさんあって、捨ってもすぐにたまってしまいます。そこで、いらないものを使って海を自動でそうじするロボットを実例する物語にしました。きれいな海をまもりたいという気持ちをこめました。

未来の電子楽器

常陸大宮市立村田小学校 5年 高丸 拓海

micro:bit を使って楽器を鳴らすことができる。未来の電子楽器を作りました。また、micro:bit の機能に合わせて LED が光ります。ボタンを押したり傾けたりしただけで、だれでも簡単に楽器が楽しめたらいいなと思って作りました。この作品で笑顔に楽器を鳴らしてみてください。

山川小マスコット ～結城の伝統をみらいにつなぐ～

結城市立山川小学校 6年 矢口 紗希／湯本 栞渚

チーム山川

この作品は、興既に BASIC（TBasic）を使い、結城の伝統をやるのは、今回が初めてです。作品には、未来に地域の伝統をつなげたいという思いを込めて、山川小のマスコットキャラクターや不動産、あやめや花火を入れました。結城市の伝統が未来にもつながってほしいです。

###国旗クイズ SHOW

茨城大学教育学部附属小学校 3年 山内 文翔

保は国旗アンバサダージュニアです。国旗には個性があって、色や絵にも意味があるのを知っていますか？そうした、国旗に込められている想いや面白さや不思議さを感じてもらいたくて、国旗”×クイズを作りました。

挑戦しよう！ みんなの地球に SDGs!

つくば市立学園の森義務教育学校 5年 村田 一哉

気候変動のニュースを見て「自分にできることは何か」と考え、SDGs ゲームを作りました。遊びながら理解力も鍛えられます。将来を担くする工夫もして、誰でも楽しめるようにしました。みんなに SDGs を知ってもらい、一緒に未来を守りたいです。

ネコネコハウス

常総市立三妻小学校 5年 栗田 葵彩

私は水害に強い「ネコネコハウス」を作りました。猫は自分で「洪水がくるから避難しなくちゃ！」なんて思わないので私たちが猫を避難させやすいように家を工夫しました。私たちも猫を安全に避難できる場所や方法をこれからも考えていきたいです。

みんなのみらい賞

愛	甲	み	う	神	長	楓	季	清	水	優	太	永	山	流	介
根	津	京	雨	軽	部		誠	下	村	暖	尊	西	村	桃	一
雨	貝	美	雨	河	内	友	希	シャー	アピール			根	本	煌	士
安	藤	裕	太	河	島	希	乃	上	西	夏	生	根	本	晴	巧
飯	島	孝	愛	川	又	輝	来	白	石	啓	人	浜	田	心	結
石	井	慎	吾	菊	恩	快	星	城	本	湖	弓	東	田	瑞	生
井	口		茜	地	雄	琥	匡	鈴	木	琶	太	横	田	諒	太朋
石	井	恵	那	橋	川	一	華	藤			拓	樋	口	慶	多
石	井	徹	真	木名瀬		真	悠	角	田		青	檜	山	悠	斗
石	川	史	織	木	下	大	太	清	野	泰	地	岡	畑		涼
石	川	原	侑	鮫	井	滝	都	関	谷	陽	斗	深	谷	奏	奈
市	毛	陶	太	熊久保		蓮	温	関	谷	陽	栞	福	住	京太郎	
伊	藤	颯	真	久米田		篤	德	相	澤	一	光	藤	田	知	照
稲野邊		壱直	丸	倉	持	琉	斗	橋	夢	叶	葵	細	貝	颯	太
井	上	澄	哉	栗	原	健	都	安	裕	雅	陽	細	谷	柚	平
伊	波	凌	太	栗	栖	菜	都	藤	翔	璃	栞	水戸部		悠	言
今	井	康	幸	黒	澤	麗	史	立	原	陽	栞	三	村	歩	夢
岩	間		晶	黒	澤	麗	夢	滝	本	駿	成	宮	嶋	心	花
植	野	悠	吾	小佐畑		栄	鈴	田	中	真	斗	宮	嶋	緑	花
梅	田	悠	吾	小	鍛	灯	織	田	中	一	一	宮	野	日	葵
梅	田	岳	大	小	林	冬志朗		津	浦	快	晟	村	上	侑佑音	
遠	藤	光	喜	小	室	光	瑠	鶴	田	さくら	愛	村	山		來
生	稲	奏	人	齋	田	晃	来	寺	門	新	汰	安	井	璃	奈
大	内	浩	道	相	良	幸太郎		鶴	田	咲	斗	八	百	大	翔
大	川	実	桜	迫	田	悠	一	嶺	崎		由	山	口	由衣華	
大	保	陽	真	佐	藤		晴	戸	岡	琉	花	山	中	優	人
大	森	優	善	佐	藤	菜	人	飛	田	琉	春	吉	田	瑠	生
大	森	優	真	佐	藤	人	時	飛	田	心	奈	吉	田	樹	久
岡		蒼	丸	佐	藤	朝	樹	外	山	心	愛	渡	邊	洸子郎	
小	川	孔	鎮	佐	野		樹	長	島	な	つ	渡	邊	将	馬
小	口	航	毅	塩	谷	穂	風	中	村		慶	渡	辺	晴	士
小	野	颯	斗	柴	田	成	嘉	中	村	銀	牙	渡	邊	陽	葵
尾	畑	陽	倭	柴	沼	花	帆	中	村	陽	葵	渡	辺	利	央
小保方		音	一	島	田	航	至	中	本	悠	晴	渡	邊	航	大
加	藤	大	誠												
金	澤	有	翔												

審査員特別賞

笠間市立大原小学校
土浦市立右初小学校
常陸太田市立太田小学校
水戸市立下大野小学校
常陸大宮市立村田小学校
ひたちなか市立市毛小学校
茨城大学教育学部附属小学校

アイデア賞

チーム名	氏名	学校名	学年	作品名
	黒澤 穀介	笠間市立北川根小学校	6年	食品カロリーリスト
	日下田 勇樹	水戸市立常盤小学校	4年	じどうセンプーキ
常陸	小松 俊翔／日土 輝波	笠間市立大原小学校	6年	かべたんちくん
ホランイ（とら）	石井 美咲／工藤 華希	笠間市立大原小学校	6年	癒しロボット
	勝間田 静	日立市立日高小学校	6年	地球温暖化対策カンバニー

生配信決定！

12月20日(土) 13:30配信開始

応募総数137作品の中から1次審査を通過した作品が、全国大会への切符をかけた最終審査に挑みます。ぜひご覧ください！

↑配信はこちらから

茨城新聞社 代表取締役社長 渡辺 勝

第6回目となる今大会に作品を応募していただいた児童の皆さん、ありがとうございました。今年は 178 名、作品数 137 点という大変多くのご応募をいただきました。そのような中、1 次審査で特別賞、優秀賞を受賞された皆さん、本当におめでとうございます。今年も工夫を凝らした力作ばかりです。最終審査でプレゼンテーションをする皆さん、全国大会出場を目指して頑張ってください。また、今年から「アイデア賞」を新設しました。皆さんの自由な発想で、楽しい作品をお待ちしています。国際社会から身近な地域まで、さまざまな課題解決能力が求められる中、論理的思考を育むプログラミング教育は重要です。

結びに、株式会社ユードム、国立大学法人茨城大学、公益財団法人げんでんふれあい茨城財団、NPO 法人ひと・まちねっとわーく、茨城県、茨城県教育委員会等関係団体のご支援に感謝申し上げます。

茨城大学 教育学部教授 毛利 靖

入賞したみなさん、受賞おめでとうございます。そして、応募していただいたすべてのみなさん、ありがとうございます。今回は、例年よりも応募が多く、そして、茨城県各地から応募があり、どれも素晴らしい作品ばかりでした。プログラミングで大切なことは、技能だけではなく、みなさんの創造力です。普段から課題意識をもって生活することで、AI にも負けない素晴らしいアイディアが生まれるのです。今年の作品には、大人でも創造がつかない独創的な作品が多く見られました。今回、入賞できなかったみなさんもあきらめる必要はありません。あなたの作品もとても素晴らしかったのです。プログラミングは正解がなく、ゴールもありません。自分が納得いくまでどんどん追求できるものです。あきらめなければ無限に良くなっていくものです。これからも、あなたがあきらめなければ、もっとすごい作品ができあがります。あなたの可能性は無限大です。自分の可能性を信じて、世界中の人が幸せになるプログラミングを作ってください。応援しています。

株式会社ユードム 代表取締役社長 森 淳一

ユードムチャレンジカップは第 6 回を迎え、県内全域から 137 件もの応募が寄せられました。今年もチビもたちの発想力あふれる素晴らしい作品ばかりで、限られた時間の中でここまでの形にした努力に心から敬意を表します。一次審査を突破し、特別賞・優秀賞を受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

社会の変化が一段と加速する今、プログラミングを通して培われる論理的思考力や創造力、そして「自ら課題を見つけ、解決していく姿勢」は、これからの不確実な時代を生き抜く上で不可欠です。本大会が、県内の子どもたちが未来への一歩を踏み出すきっかけとなり、その皆さんが将来、IT 分野のみならず多方面でご活躍されることを願っております。

主　催　茨城新聞社、全国新聞社事業協議会
特別協賛　株式会社ユードム、国立大学法人茨城大学
後　援　文部科学省、経済産業省、デジタル庁、人工知能学会、茨城県、茨城県教育委員会、LuckyFM 茨城放送、茨城新聞茨城会
協　賛　（公財）げんでんふれあい茨城財団、NPO法人ひと・まちねっとわーく
協　力　県立水戸工業高等学校、県立IT未来高等学校

お問合せ　茨城新聞社営業局事業部　TEL 029-239-3005

共通広告管理・流通事業 SARTRAS

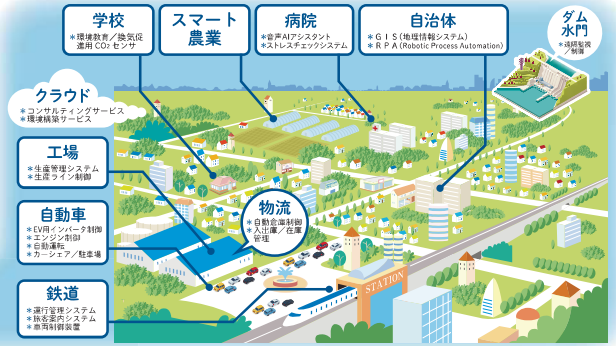
本大会は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）の共通目的基金の助成を受け実施されています。
https://sartras.or.jp/

U-DOM

ＩＴと人間力で社会に貢献する。

Q ユードムってどんな会社？

A 1976 年の創業以来、社会インフラ領域を中心としたシステム開発に従事して参りました。
業務の一例を紹介します▶



茨城でＩＴを相談するならユードムへ

株式会社 ユードム

本　　社：茨城県水戸市城南 1-5-11
東京本社：東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 5F
土浦支社：茨城県土浦市港町 2-2-12
名古屋事業所：愛知県名古屋市中村区名駅南 2-14-19 住友生命名古屋ビル 8F

地域未来牽引企業
https://www.udom.co.jp/

ユードムチャレンジカップ 小学生プログラミング大会

特定非営利活動法人

私たち、ひと・まちねっとわーくでは、
思いやりのある社会をめざして生涯学習・社会教育活動を支援します

5つの活動の柱を掲げています

- 社会教育の推進：「県南生涯学習センター」管理運営／「茨城しぐさ」の普及啓発／茨城県生涯学習社会教育研究会との連携・協力
- まちづくりの推進：まちづくりを目的とする各種イベントへの積極的参加／地域のつながりによるまちづくりへの支援参加
- 男女共同参画社会の形成の促進：女性・若者活躍支援事業の実施・支援／各種団体等の実施事業への参加・協力
- 子どもの健全育成：子育て推進事業の実施／「いばらき子ども大学」の開設／放課後子ども教室の運営
- 社会福祉の増進：子どもに対する学習・生活支援の実施／児童クラブの実施／ひと・まちぷらす（障害児通所支援事業所）との連携

ひと・まちねっとわーく事務局
所在地 茨城県水戸市緑町3-5-35 茨城県保健福祉会館別館
電話 029-233-5200　FAX 029-246-6587
会員募集中
E-mail info@hito-machi.net
開所時間 月曜日～金曜日　午前8時30分～午後5時15分

この事業は、(公財)げんでん ふれあい茨城財団の支援により実施しています。

ふれあいと ゆとりある
地域づくりに貢献します。

げんでんふれあい茨城財団は、地域文化、科学技術の振興、人材育成・文化団体への支援、芸術鑑賞と文化の創造、優れた文化活動の顕彰などの事業を実施し、地域文化の振興、発展に寄与してまいります。

(公財)げんでん ふれあい茨城財団
日本原子力発電㈱　茨城事務所内
〒310-0852　茨城県水戸市笠原町 978-25　TEL029-287-1251　FAX029-301-1512